

新たな路面公共交通システムについて

■アンケートの趣旨

名古屋市では、都心における回遊性の向上や賑わいの拡大を図るため、まちづくりと一体となった新たな路面公共交通システム（SRT）の導入に向けて検討を進めています。

このアンケートは、都心での移動や歩行者空間について、市民の皆さまがどのように感じているのか調査し、今後の取り組みを検討する上での参考とさせていただくものです。

■説明・前提条件

Q1：必須 ・選択数1つ	Q2：Q1の選択による ・選択数2つまで	Q3：Q1の選択による ・選択数1つ	Q4：Q3の選択による ・選択数1つ
Q5：Q3の選択による ・選択数1つ	Q6：Q3の選択による ・選択数1つ	Q7：必須 ・選択数1つ	Q8：必須 ・選択数3つまで
Q9：必須 ・選択数1つ	Q10：必須 ・選択数3つまで	Q11：必須 ・選択数3つまで	Q12：必須 ・選択数1つ
Q13：任意 ・自由記載			

- ▶ 年代・居住区・性別の属性は事前に登録されたモニターの属性から取得
- ▶ 比率はすべて、各質問の回答者数に対するパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出（このため、合計が100%にならないことがある）
- ▶ 複数回答が可能な質問については、各項目の比率の合計は通常100%を超える

■アンケート実施期間

令和4年7月15日（金） から 令和4年7月25日（月）まで

■モニター数・アンケート回答数

対象モニター数： 500人 回答数： 481人 有効回収率： 96.2%

■問い合わせ先

調査テーマに関すること
住宅都市局 交通事業推進室

電話：052-972-2744 F A X：052-972-4170
E-Mail：a2744@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp

調査概要に関すること
スポーツ市民局 広聴課

電話：052-972-3139 F A X：052-972-3164
E-Mail：net-moni01@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

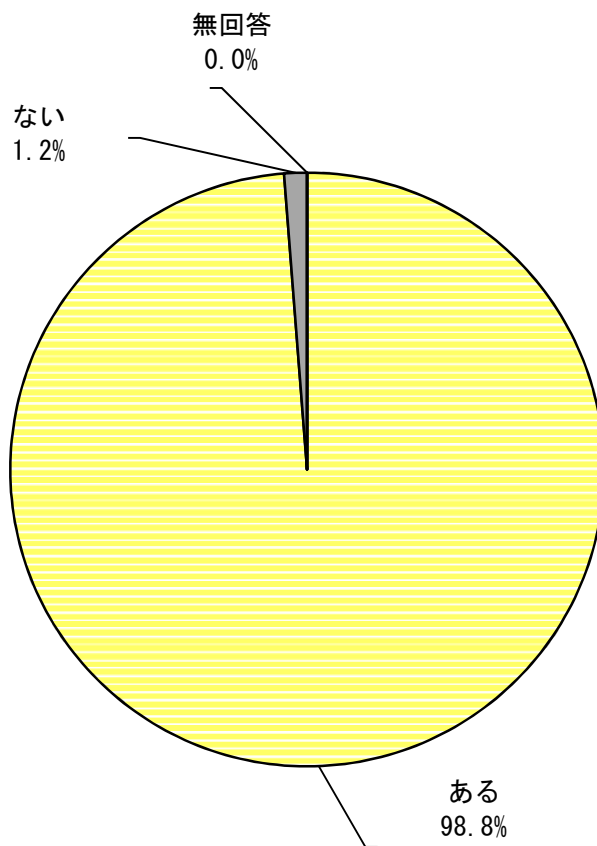
回答集計

※各図表の「N」は、回答者数を表しています。

<都心での移動について>

Q1【※必須】あなたは、この5年の間に都心（名古屋駅、栄、名古屋城、大須を含むエリア）に行ったことがありますか。（選択は1つ）

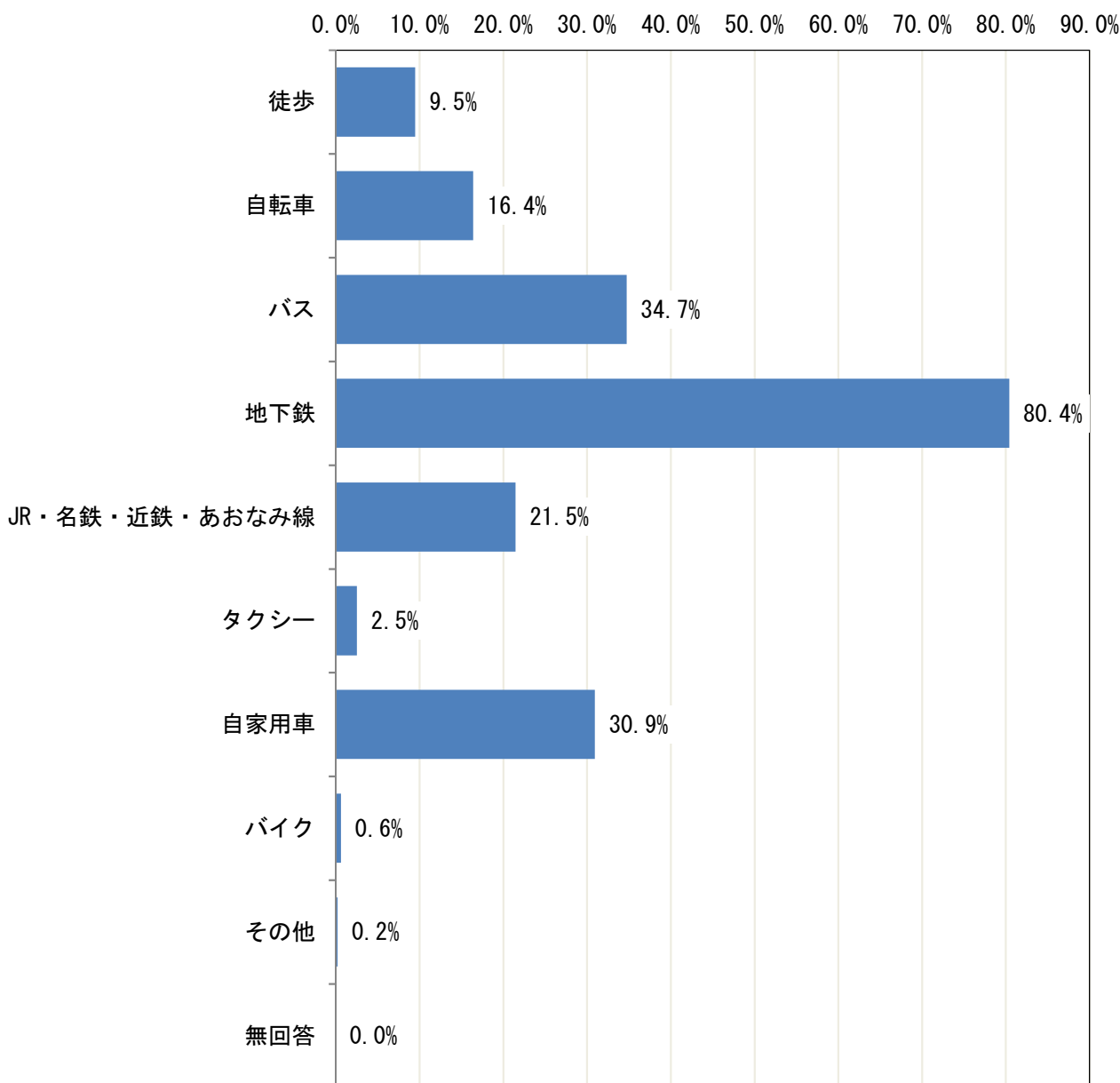
N=481



【Q2～Q6はQ1で都心へ行ったことがあると答えた方（「ある」と回答した方）におたずねします。】

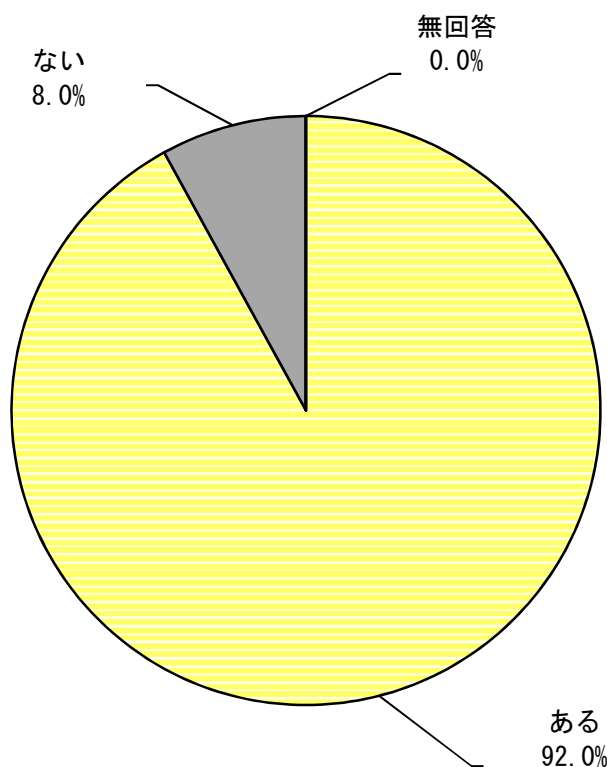
Q2 あなたは、都心に行くとき、どのような移動手段を使いますか。（選択は2つまで）

N=475



Q 3 あなたは、都心で拠点間（名古屋駅、栄、名古屋城、大須の間）を移動したことがありますか。（選択は1つ）

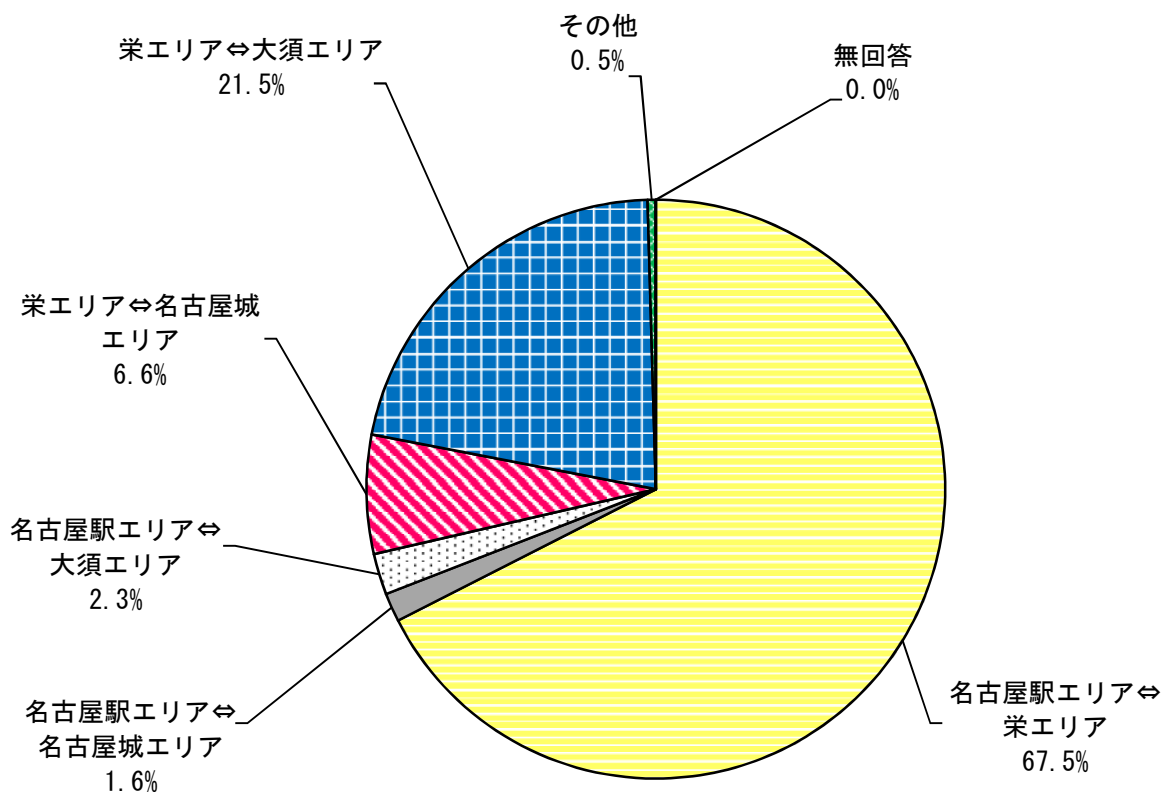
N=475



【Q4～Q6はQ3で移動したことがあると答えた方（「ある」と回答した方）におたずねします。】

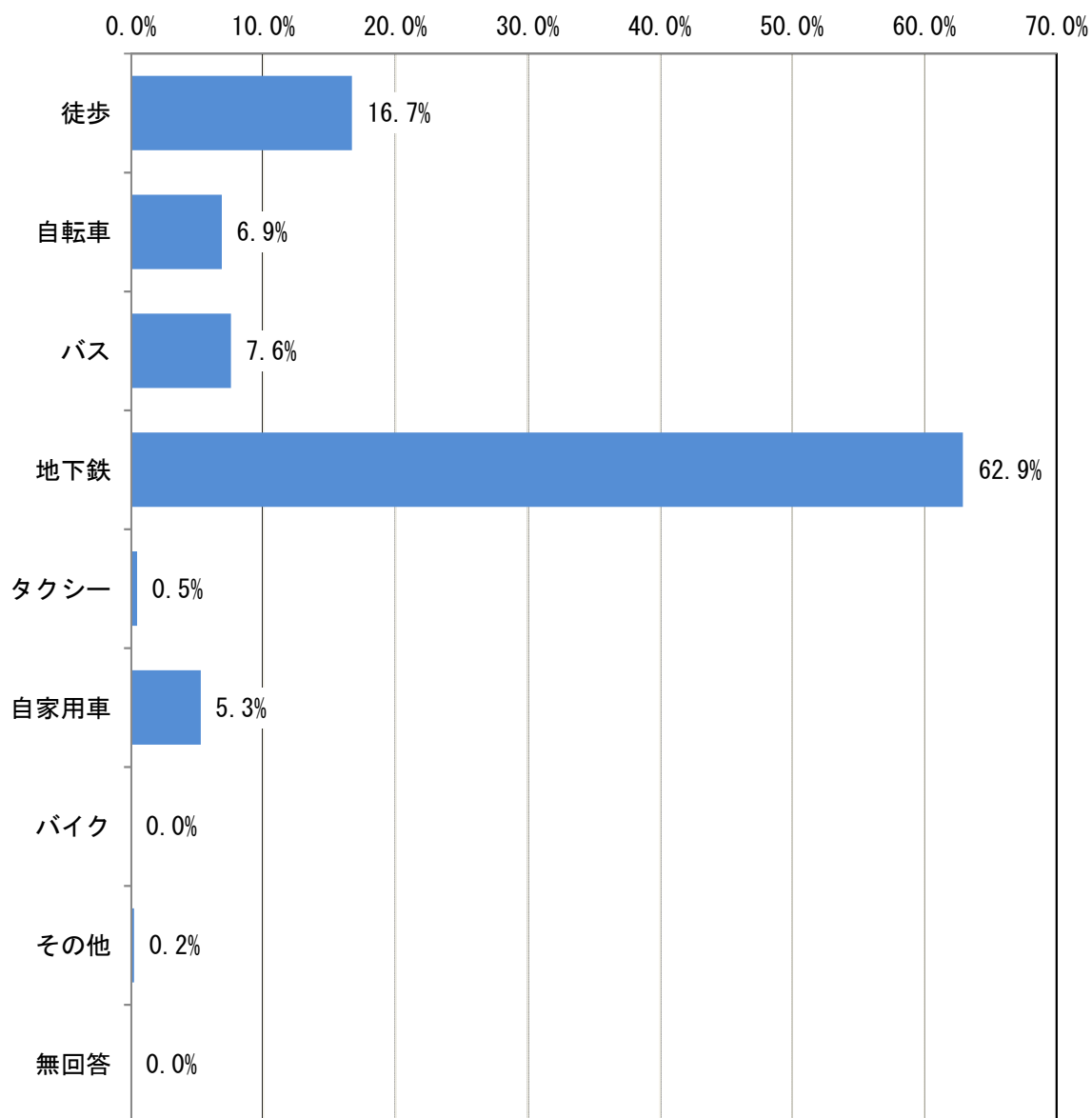
Q 4 あなたが、都心の拠点間で主に移動する区間はどこですか。（選択は1つ）

N=437



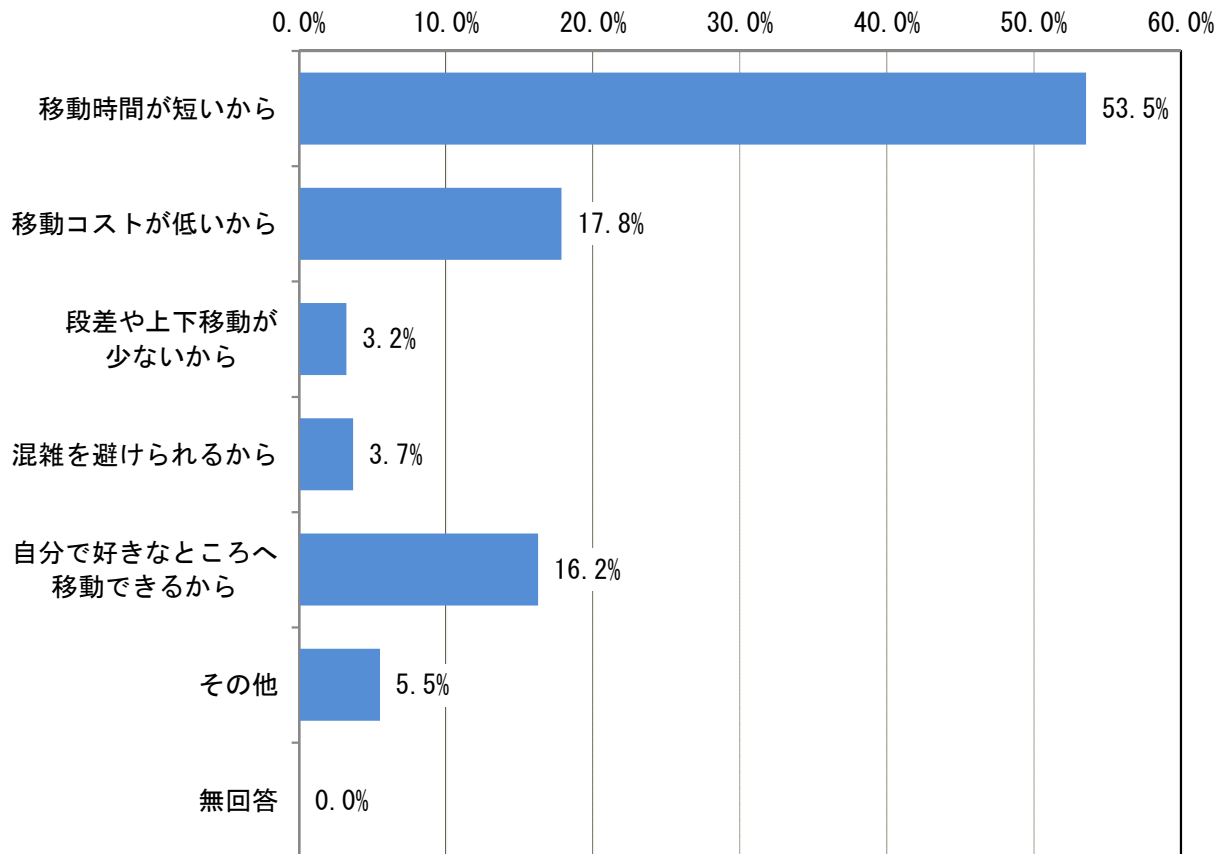
Q5 あなたが都心の拠点間を移動するとき、主に使う移動手段は何ですか。(選択は1つ)

N=437



Q6 あなたが、その移動手段を使う主な理由は何ですか。(選択は1つ)

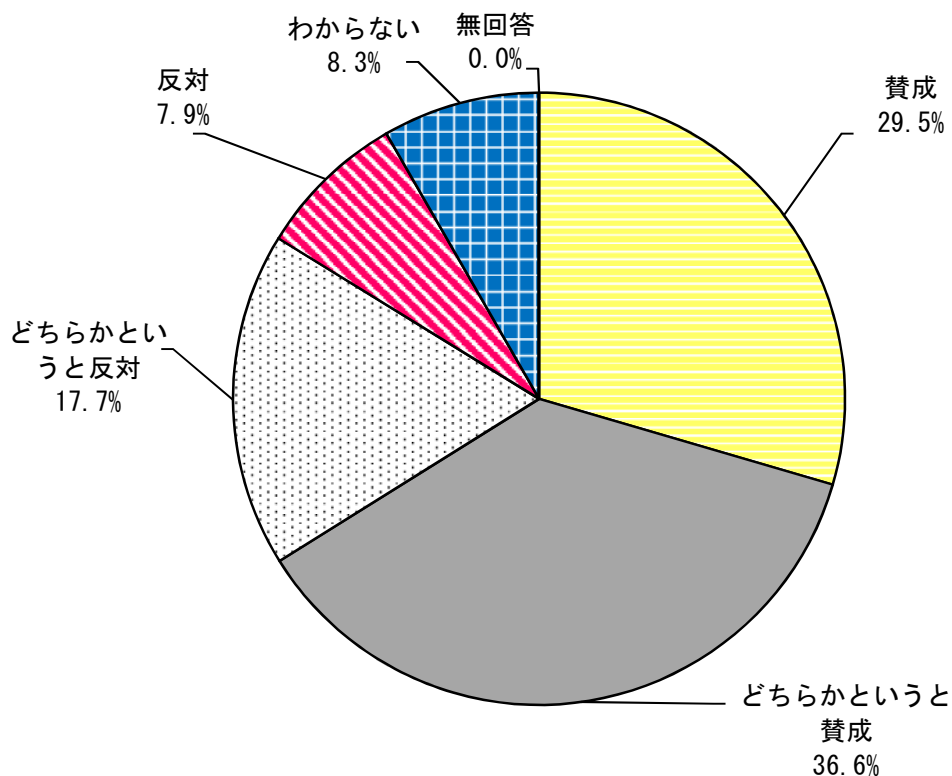
N=437



【すべての方におたずねします。】

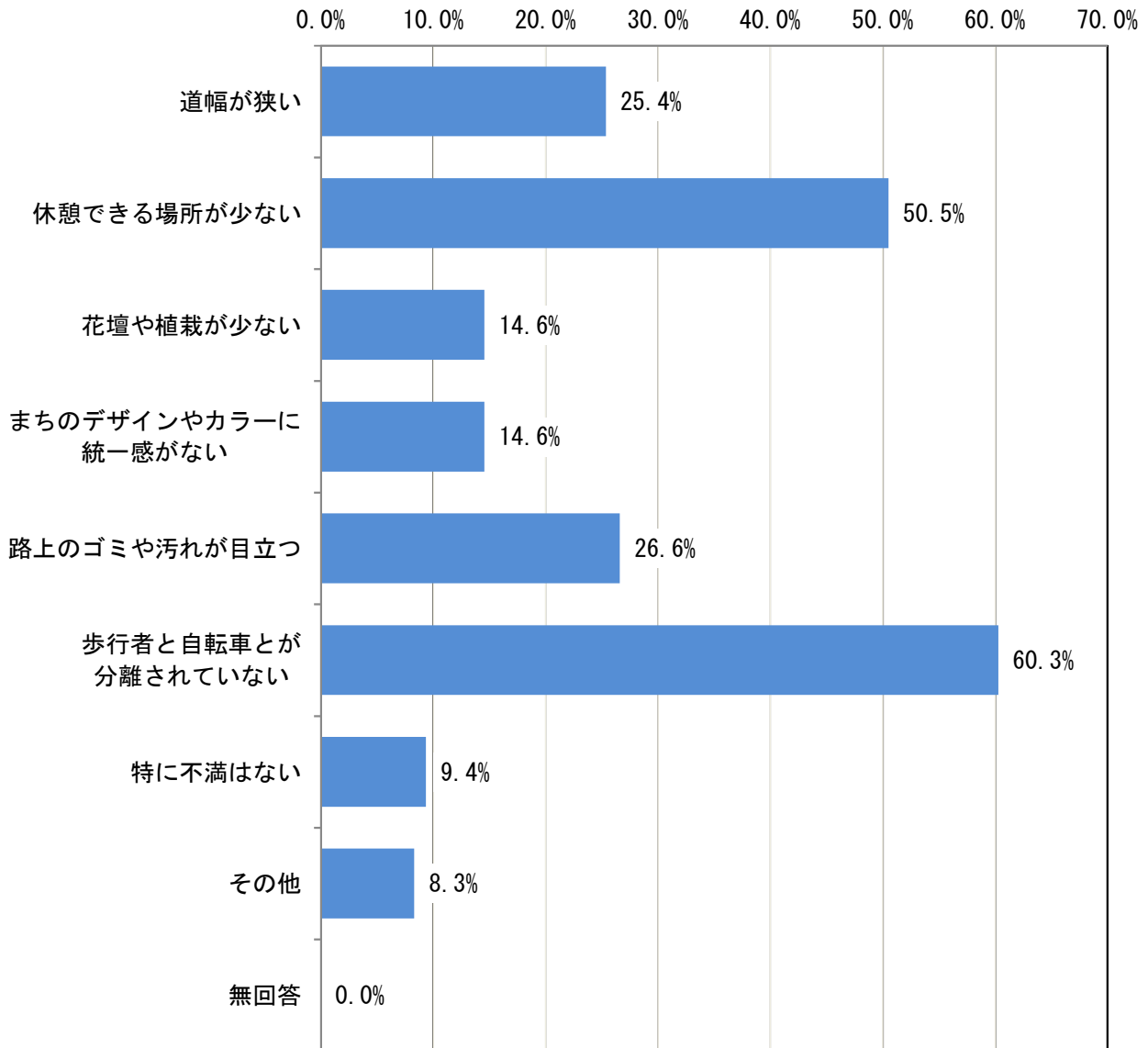
Q7 【※必須】あなたは、都心で歩行者や公共交通を優先させるために、自家用車の使用を制限することにどのように思いますか。(選択は1つ)

N=481



Q8【※必須】あなたは、都心を歩くとき、どのようなところが不満ですか。（選択は3つまで）

N=481



<SRTについて>

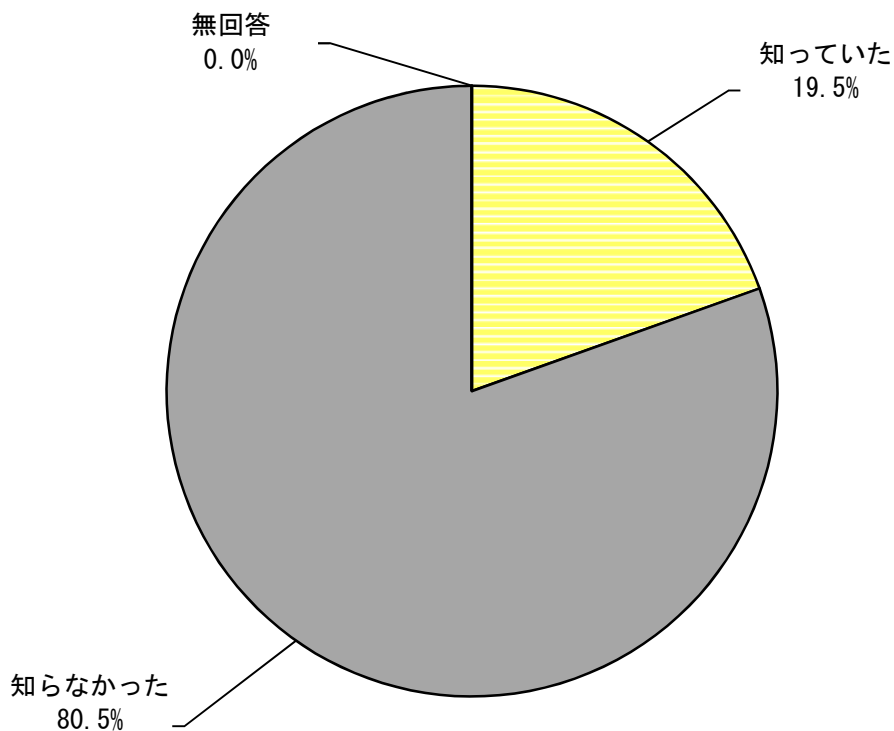
名古屋市では、名古屋駅や栄、名古屋城、大須など、都心部の魅力ある地域をつないで回遊性を高め、賑わいを面的に拡大する新しい都市のシステムとして新たな路面公共システム（SRT）を検討しています。そのシステムは、技術の先進性による快適な乗り心地やスムーズな乗降、洗練されたデザインなどのスマート（Smart）さを備え、路面（Roadway）を走ることでまちの回遊性や賑わいを生み出す、今までにない新しい移動手段（Transit）であることから、その特性を表す概念として、「SRT」（Smart Roadway Transit）と称しています。

【参考資料】関連リンク：新たな路面公共交通システムの実現をめざして（SRT構想）（名古屋市公式ウェブサイト）

<https://www.city.nagoya.jp/jutakutoshi/page/0000089453.html>

Q9【※必須】あなたは、SRTという言葉を知っていましたか。（選択は1つ）

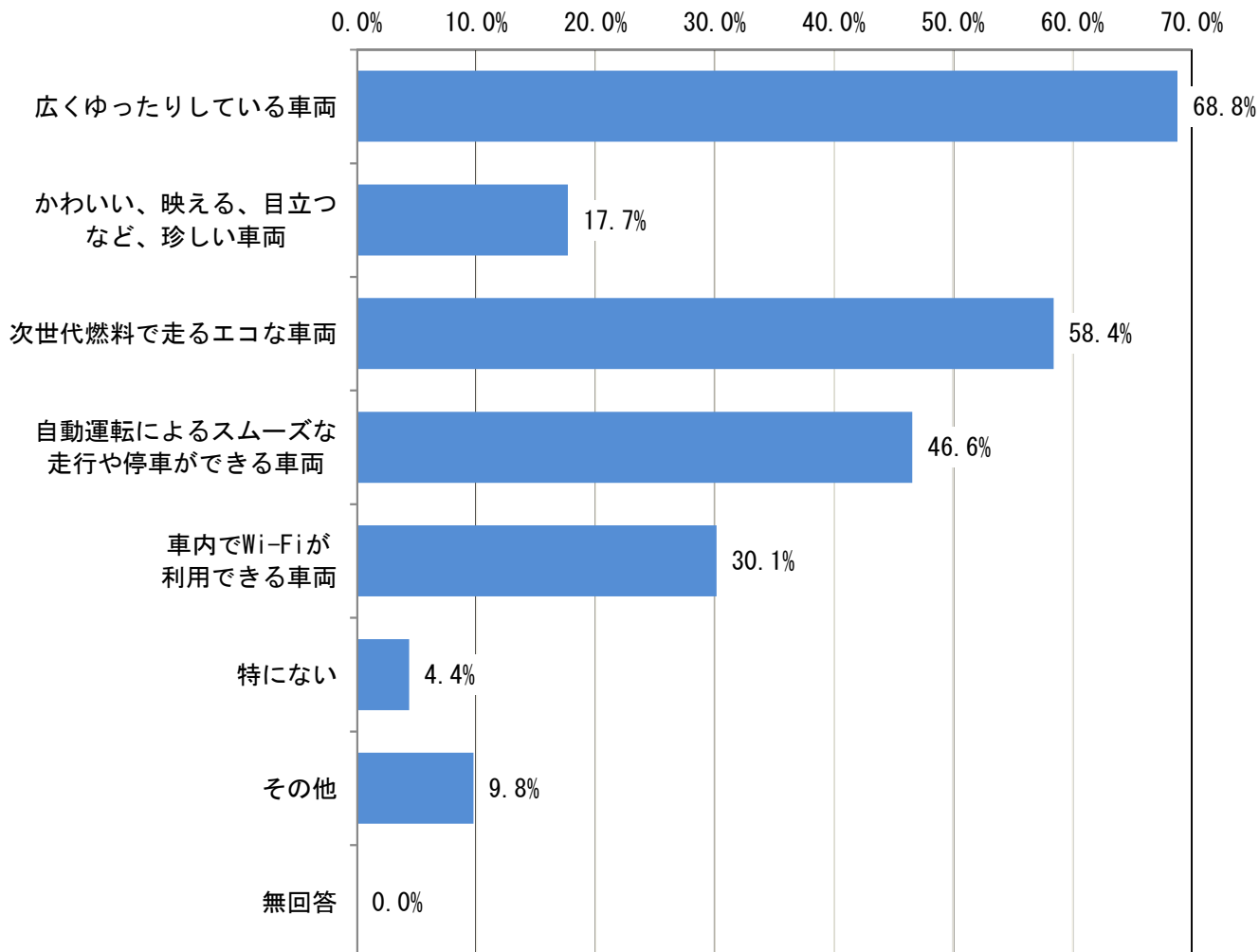
N=481



名古屋市では、SRTの「車両」について、まちなかでの存在感やシンボル性があり、誰もが安心して快適に乗車できる先進的なものを目指しています。

Q10 【※必須】あなたが、SRTの車両で乗りたいと思うものはどれですか。（選択は3つまで）

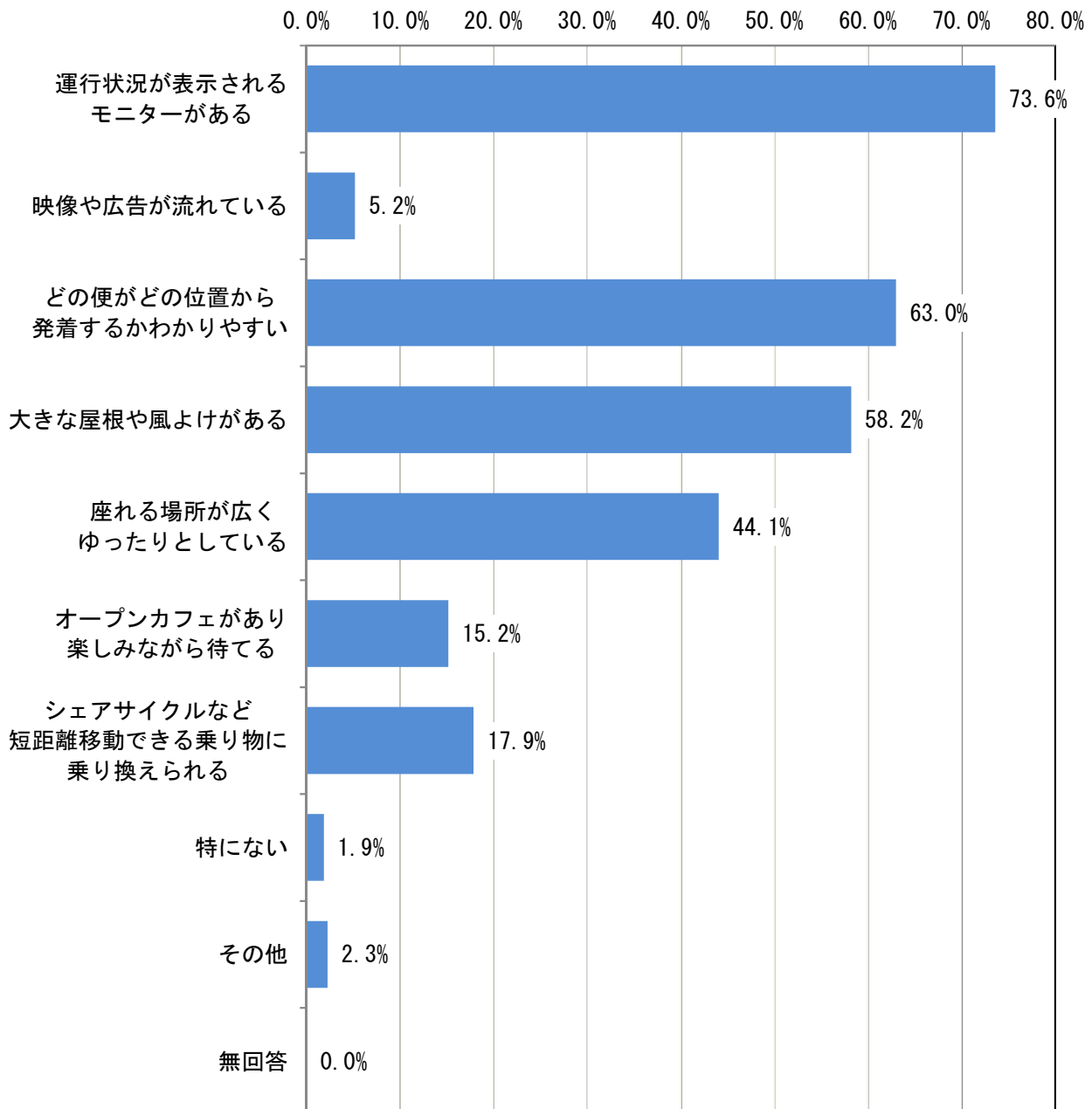
N=481



名古屋市では、SRTの「待合空間」について、利用者がスムーズに乗降でき、快適に待てる空間とするとともに、歩道との一体性を高め、まちの情報案内機能を備えることで回遊性や賑わいを創出する場所を目指しています。

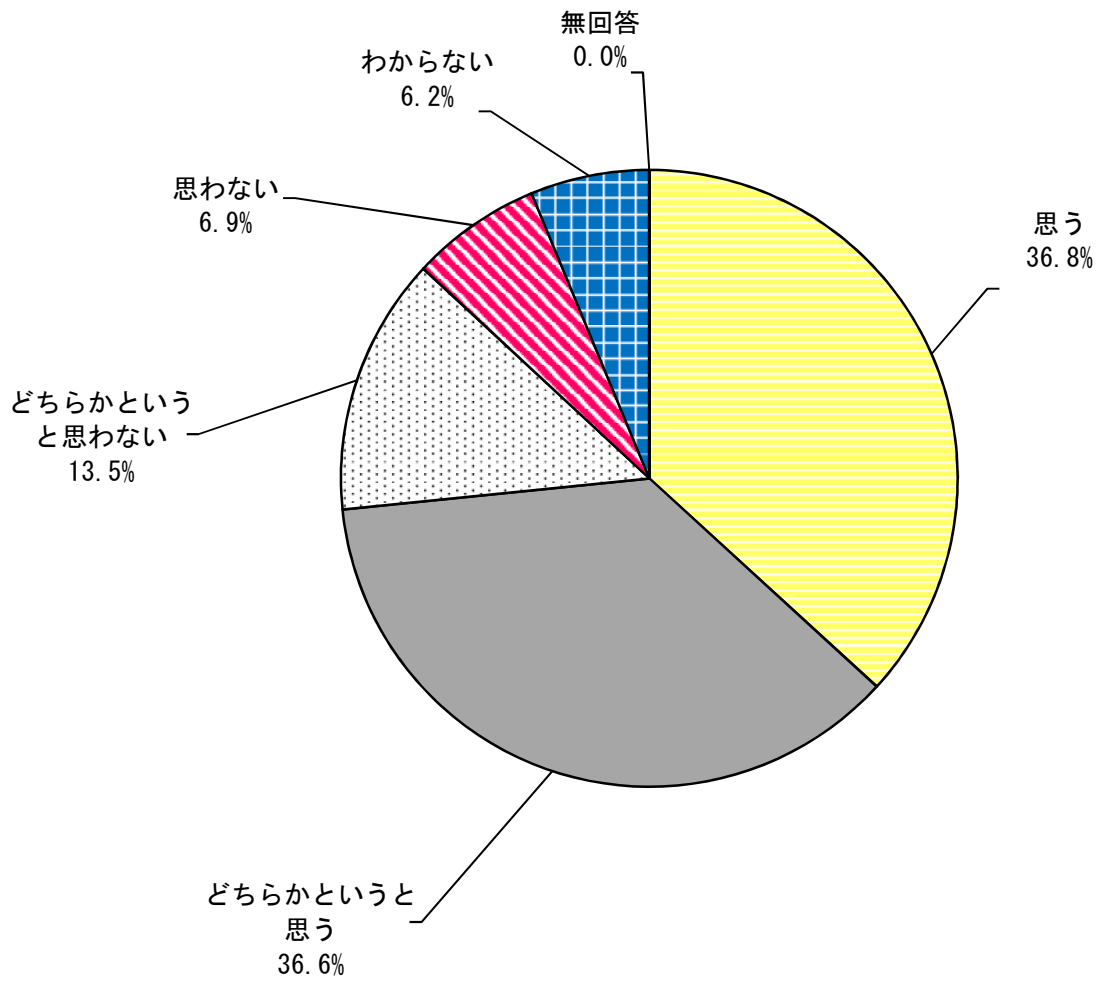
Q11 【※必須】あなたが、SRTの待合空間について、利用したいと思うものはどれですか。
(選択は3つまで)

N=481



Q12 【※必須】あなたにとって、SRTは、名古屋の都心の主な交通手段の1つになると思いますか。(選択は1つ)

N=481



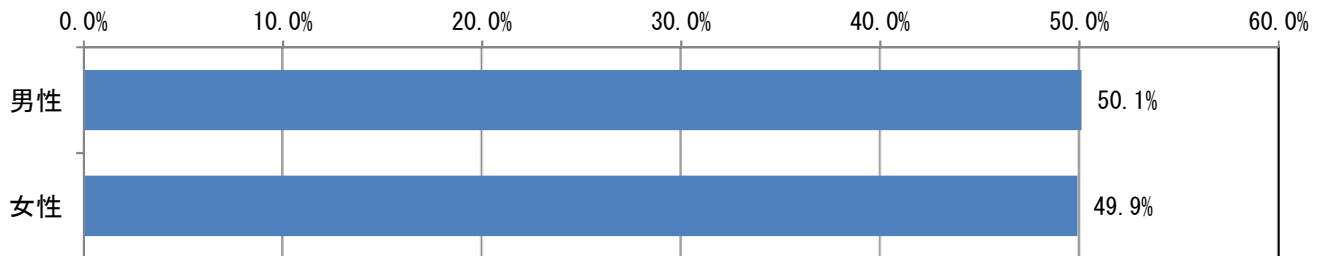
- ・ 地下鉄の短区間利用（名古屋駅～伏見～栄の相互間）や、都心ループバスの代替交通機関になり得ると思います。
道路の広い名古屋市では、比較的整備がし易い感を持ちます。
- ・ 自家用車で移動することが多いのですが、自家用車より便利で快適な交通手段があれば利用したいです。
- ・ 車社会の名古屋において車線を1つつぶしてSRTを新設するとなると都心の車の渋滞が心配です。
歩道も広く特に混雑することもなく地下鉄の利便性も確保されているため人口が減少に向かう中であえて作る必要があるのか疑問です。
既存のバスや地下鉄の利便性を高めることが先決かと思えます
- ・ お年寄りや車椅子の方が気兼ねすることなくスムーズに利用できるような交通機関になることを望みます。
- ・ 料金形態について、現状の市バスと同等の取り扱いにしてほしい。エコきっぷ、1日乗車券、市バス全線定期券の枠内であれば是非利用したい。
また運転間隔を可能な限り短くしてほしい。いつ乗り場に行ってもすぐに来ることによって速達性で地下鉄に匹敵させることができるのではないだろうか。

ほか

■属性集計

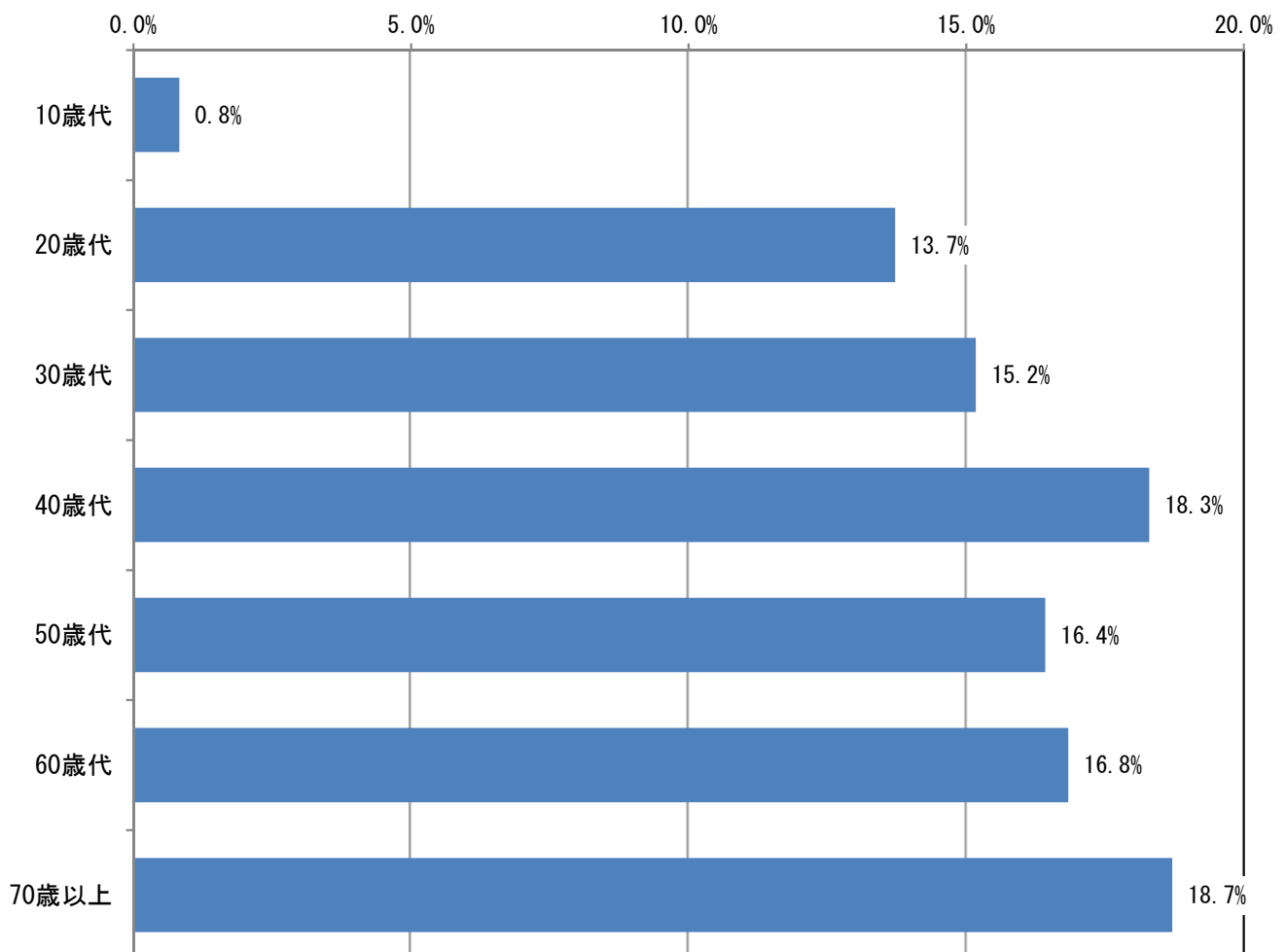
性別

	全体	男性	女性
%	100.0%	50.1%	49.9%
回答者数	481	241	240



年代

	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
%	100.0%	0.8%	13.7%	15.2%	18.3%	16.4%	16.8%	18.7%
回答者数	481	4	66	73	88	79	81	90



居住区

	全体	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区
%	100.0%	6.0%	5.6%	7.3%	5.0%	6.7%	3.5%
回答者数	481	29	27	35	24	32	17
		昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	南区
		5.8%	6.0%	4.4%	7.7%	5.6%	4.2%
		28	29	21	37	27	20
		守山区	緑区	名東区	天白区		
		5.0%	11.6%	8.7%	6.9%		
		24	56	42	33		

